

2023年度 進路相談員通信 2号

高校生・ホームルーム担任それぞれの立場から見たキャリア教育についてのアンケート結果を簡単にご紹介します。今後のキャリア教育を行う参考にしてください。

出典：国立教育政策研究所・進路指導研究センター「キャリア教育に関する総合的研究第一次報告書」（令和2年3月）

令和5年度10月2日（月）発行
（教諭向け）

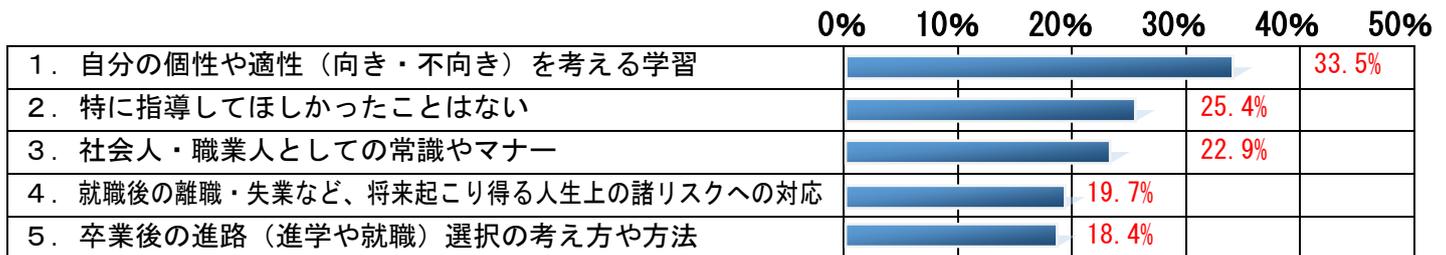
北海道教育庁 上川教育局
教育支援課
進路相談員
佐藤 進



下記の項目の中で、生徒が「将来の生き方や進路について考えるため、指導してほしい」と感じているものは、「自分の個性や適性（向き・不向き）を考える学習」が最も高く、次いで「社会人・職業人としての常識やマナー」、「就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応」が高くなっており、生徒の求める指導が、卒業直後の進路選択ではなく、自分を知ることや社会人・職業人になった自分を想定したものであることに注目しましょう。これらの期待に応える長期的な視野に立ったキャリア教育が求められています。

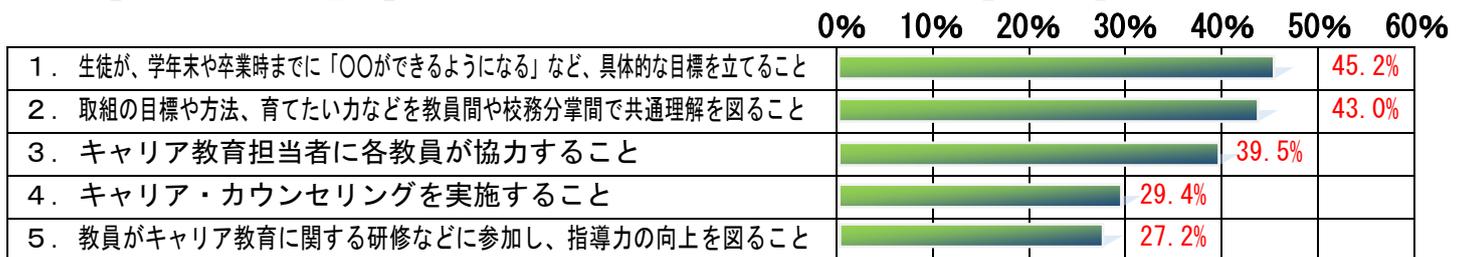


1. 【生徒】将来の生き方や進路について考えるために指導して欲しかったこと【BEST 5】

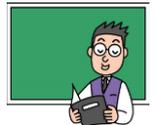


（「キャリア教育に関する総合的研究第一次報告書」令和2年3月より作成）

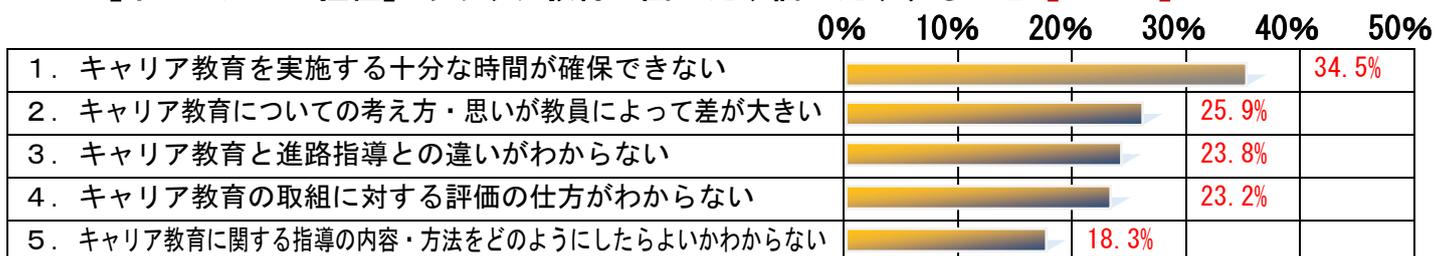
2. 【ホームルーム担任】キャリア教育で今後重要だと思うこと【BEST 5】 ※「とても重要だと思う」の項目が高い順



（「キャリア教育に関する総合的研究第一次報告書」令和2年3月より作成）



3. 【ホームルーム担任】キャリア教育で困ったり悩んだりすること【BEST 5】



（「キャリア教育に関する総合的研究第一次報告書」令和2年3月より作成）